

# 『水害のない町へ』 鵜戸川北部 水路改修工事

(立田輪中悪水土地改良区)

立田輪中悪水土地改良区は、明治時代からある農業インフラ管理団体で、現在は排水業務を専門としています。かつての立田輪中地域である八輪小学校区、立田北部小学校区、立田南部小学校区の大部分で発生する農業排水、雨水排水、家庭排水(集落排水も含め)は、そのほとんどが鵜戸川へ放流され、森川町にある排水機場がこれを木曾川へ強制排水します。この鵜戸川は藤ヶ瀬町から森川町の南北約10kmにかけて流れていますが、特に北部の護岸は、最後の改修が約50年前になされた施設で、近年は老朽化が激しかったことから、愛知県が平成29年度から改修工事を始めています。令和元年度の工事では早尾町地内で写真のような新しい護岸が整備され、より安定した排水機能が整えられつつあります。こうした工事の期間中、近隣の皆様には何かとご不便をお掛けしますが、ご紹介した立田輪中地域は、鵜戸川や排水機場が機能しなければ水の行き場がなく水害が発生する地域です。地域の安全のため、何卒、ご理解とご協力をお願いします。



施工前



施工後

排水機場の名前	排水ポンプの運転状況 平成31年4月から令和2年3月までの1年間(下段は前年度比)			
	運転日数	運転時間数	排水費用	内電気代
立田排水機場	232日 (+25日)	2,094時間 (+163時間)	13,437,087円 (+37,167円)	6,528,951円 (+461,863円)
立田輪中第2排水機場	224日 (+18日)	1,846時間 (+6時間)	14,336,271円 (+535,849円)	11,081,337円 (+306,345円)

排水機場は、水を吸い込む機能上たくさんのゴミが流れてきます。処分には多くの費用が掛かりますので、水路へのゴミ捨てはやめてください。

問 土木課 ☎(55)7125